



2023年6月15日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平  
(コード 8739 東証プライム市場)

### 「未来創生 3号ファンド」

#### 腸内細菌研究に基づく医療・創薬を推進するメタジェンセラピューティクス株式会社への投資実行

—「腸内細菌叢バンク」の構築・運用によって腸内細菌叢移植（FMT）の社会実装を支援—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生 3号ファンド」が、メタジェンセラピューティクス株式会社（本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長 CEO：中原拓。以下、メタジェンセラピューティクス社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。メタジェンセラピューティクス社は今回の調達資金を活用し、腸内細菌叢移植（FMT）の社会実装へ向けた「腸内細菌叢バンク」の構築・運用や、腸内細菌創薬プログラムの研究開発を加速します。

#### ■ 投資先企業の概要

メタジェンセラピューティクス社は、「マイクロバイームサイエンスで患者さんの願いを叶え続ける」ことをミッションとして、腸内細菌研究に基づいた医療と創薬でソーシャルインパクトを生み出す大学発ベンチャーです。順天堂大学の医師と慶應義塾大学、東京工業大学の研究者が共同創業し、腸内細菌叢移植療（FMT）の社会実装と、「FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬」を推進しています。

#### ■ 「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生 2号ファンド」および「未来創生 3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2023年5月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,509億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室  
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101  
pr\_media@sparxgroup.com